記者発表資料

平成３０年　２月２８日
東 北 地 方 整 備 局
仙 台 河 川 国 道 事 務 所

国道108号古川東バイパスの開通見通しについて

国土交通省が事業を進めています国道108号古川東バイパスの一部区間について、用地取得の進捗など、完成に向けた円滑な事業実施環境が整い、平成31年度までに開通する見通しとなりましたのでお知らせします。

開通予定	号線	事業名	区間	延長
31年度	108	古川東バイパス	大崎市古川馬寄（まよせ）～古川宮内（みやうち）	1.2km

◎古川東バイパスの一部区間開通により、以下の効果が期待されます。

中心市街地の交通分散による
　〇広域物流の効率化
　〇交通結節点へのアクセス向上など道路交通環境の改善

◎今回の公表により、国道108号古川東バイパスは開通済み区間2.3kmを含め、3.5km（約7割）の開通見通しが確定します。

＜記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ＞

【お問い合わせ先】

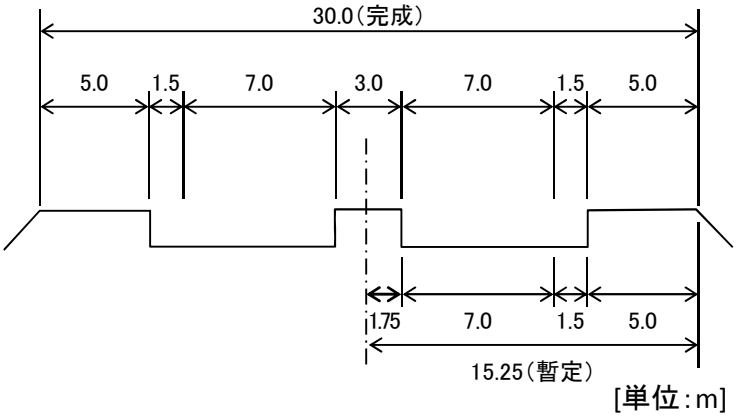
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　TEL022-248-4131
副所長　遠藤（えんどう） 雅司（まさし）　（内線205）

別添

位置図

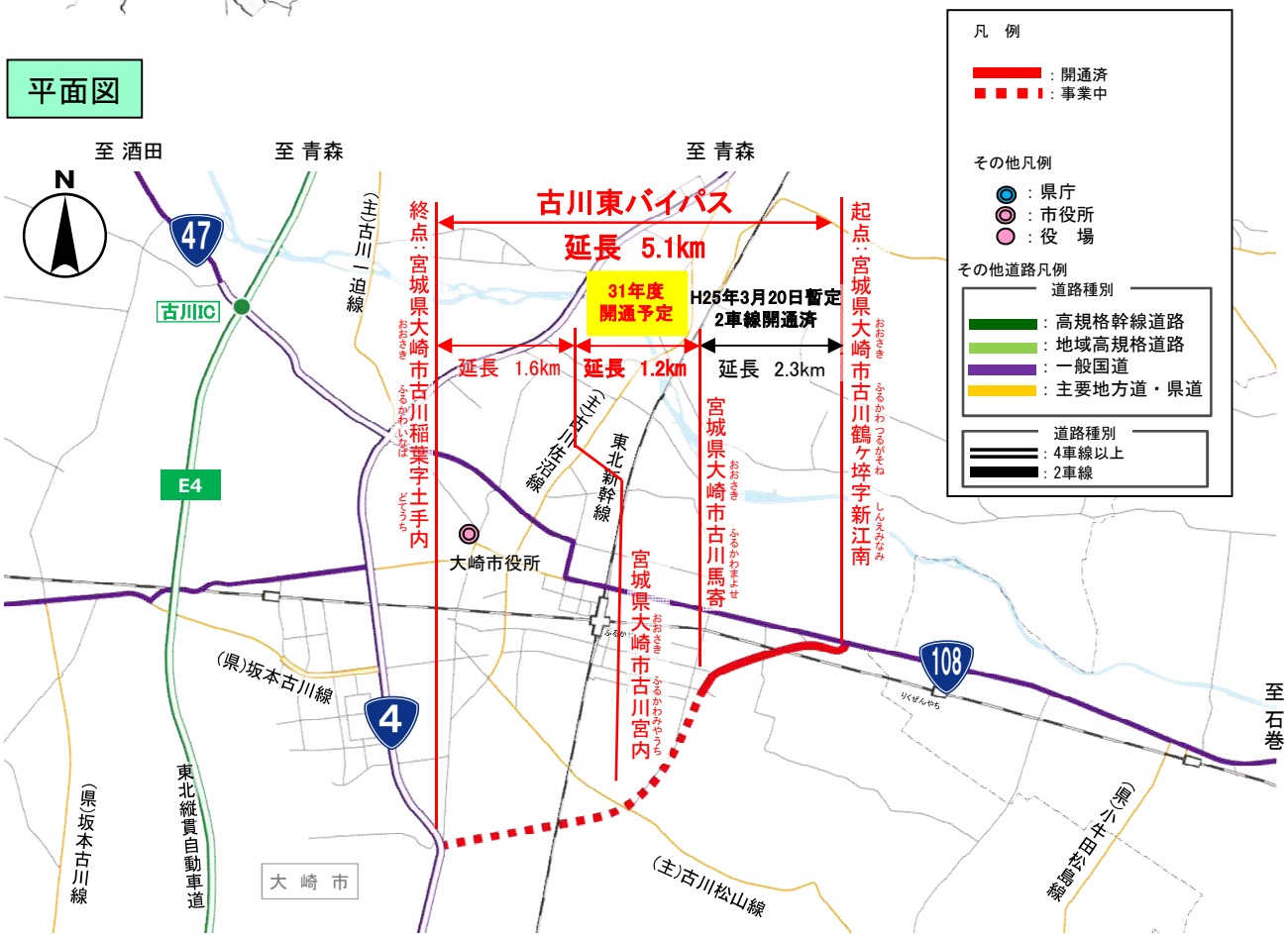


標準横断図



[単位:m]

平面図



広域物流を支援する古川東バイパス

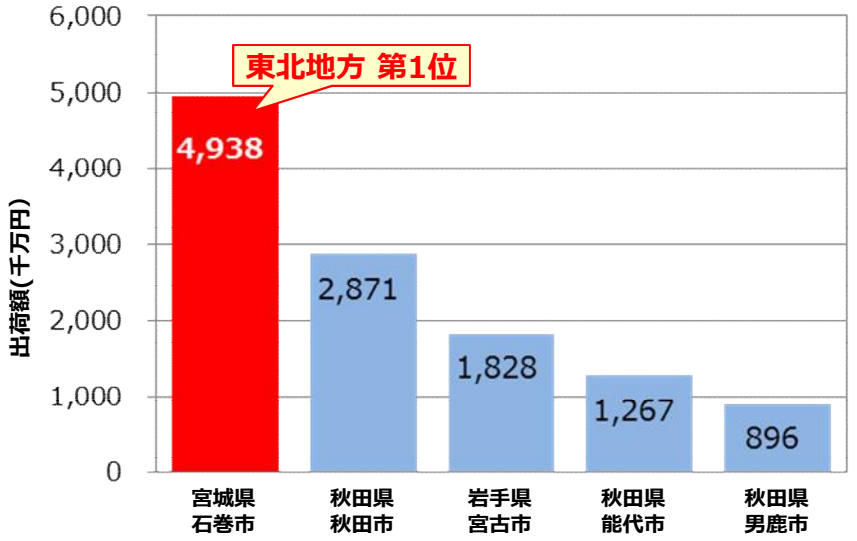
国土交通省

○宮城県石巻市で製造される木材・木製品と、その材料となる原木は、輸送ルートとして主に国道108号を利用
○石巻市から出荷される木材・木製品は大崎市が最多
○古川東バイパスの整備により、国道108号現道区間の交通が分散し走行性が向上することで広域物流の効率化を支援



▲ 原木の運搬状況

■東北地方の自治体別木材・木製品出荷額（上位5位）



資料：工業統計(H26)



▲ 木材・木製品に使用される原木

出典：※1 林業企業ヒアリング調査　※2 H22物流センサス（3日間調査）

中心市街地・交通の要衝へのアクセス向上を支援する古川東バイパス

国土交通省

○古川駅は新幹線駅、高速バス等の**交通結節点**となっており通勤通学等で利用されているが、アクセス道路となる国道108号は**主要渋滞箇所が連続し幹線道路としての機能が低下**

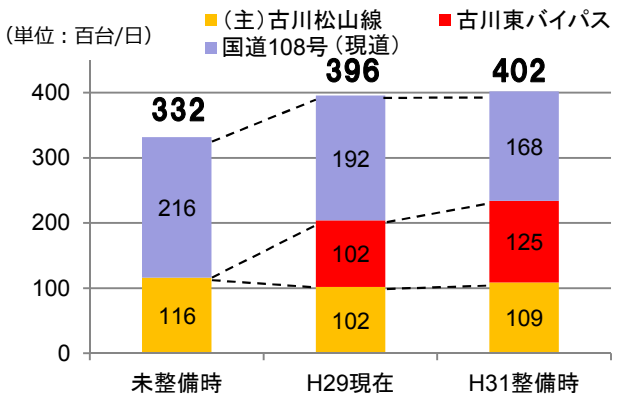
○古川東バイパスの整備により、国道108号現道区間の交通が分散し、**中心市街地へのアクセスが向上**するとともに**事故件数の低減を支援**





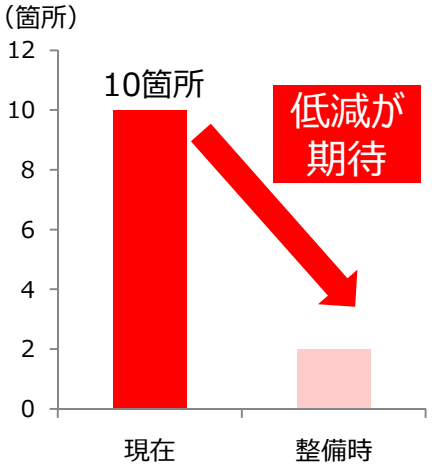
▲国道108号の混雑状況

国道108号の交通量が分散し
道路交通環境が改善

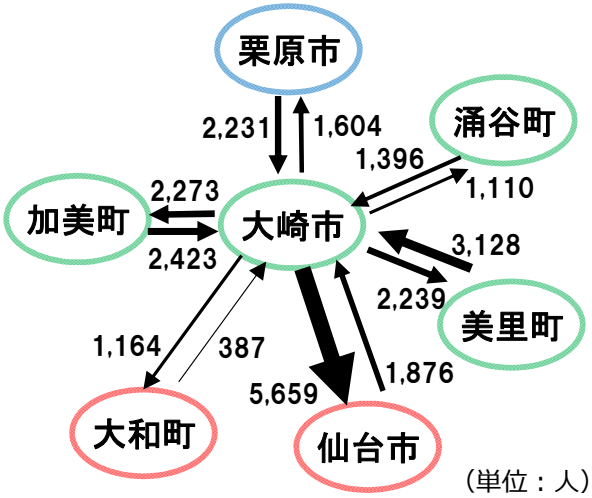


▲断面①の交通量の変化

資料：未整備時：H22道路交通センサス
H29現在：H27全国道路・街路交通情勢調査
H31整備時：交通推計結果



▲死傷事故率100件/億台キロ以上の箇所数



▲大崎市の主な通勤通学流動

資料：H22国勢調査